

令和8年度地域おこし協力隊初任者研修・交流会の概要

1 趣旨

新たに着任した地域おこし協力隊員が、制度や行政への理解を深める。また、先輩隊員の経験を交えながら地域への溶け込み方を学び、他隊員や先輩隊員との座談会・交流会を通して、活動を円滑に進めるための助言を得る。

2 対象及び参加者数

(1) 対象

委嘱から概ね1年以内の市町村地域おこし協力隊員

(2) 参加者数

ア 地域おこし協力隊員：39名（27市町村）

イ 市町村及びその他職員：8名（7市町村その他）

3 日時・方法

(1) 日時

令和8年6月1日（月）10時30分から17時まで

(2) 方法

ハイブリッド開催（現地参加・WEB）

4 内容

(1) 交流会（WEB 配信なし）

(2) 全国及び県内の取組・受入状況等の紹介

(3) 地域おこし協力隊制度の説明

(4) 先輩隊員からの体験談の紹介

(5) 先輩隊員との座談会（WEB 配信なし）

(6) 懇親会（希望者のみ）

5 登壇者（先輩隊員）

(1) 杉山 豊 氏

長野県協力隊 0B、豊丘村協力隊 0B【制度支援・都市農村交流・地域交流拠点づくり】、
一般社団法人ローカルイノベーションイニシアチブ共同代表、waratte 代表、
総務省地域おこし協力隊アドバイザー

(2) 西村 耕平 氏

長野県協力隊制度推進員、松川村協力隊 0B【移住定住】、一般社団法人 Ori 絲（おりいと）代表、
合同会社家守家継代表社員

(3) 佐藤 慎平 氏

栄村協力隊 0B【移住】、山奥シェアハウスとまりいえ、信州移住コネクター

(4) 鈴木 若菜 氏

原村協力隊 0G【滞在観光推進】、一般社団法人 Heart Full Village（ハートフルビレッジ）共同代表

(5) 酒巻 鮎子 氏

佐久穂町協力隊 3 年目【障がい福祉】

6 （参考）当日の様子



7 参加者の感想

- 「同じ協力隊としての苦楽を知ることができて大変助かりました、心強い仲間/先輩方が居ると思うと安心材料になりました。」
- 「1人での業務が多く、不安や焦りが強かったので、他の協力隊員と話せることができて本当に安心しました。」
- 「卒業された先輩方のお話や失敗談を聞く中で、これからの活動の指針や地域に入っていくうえで気を付けるべきことがわかり、漠然とあった不安や悩みを解消することが出来ました。町外の横のつながりや、相談できる先輩方とのつながりがつくれたのもありがたかったです。」
- 「長野県という同じ県内の地域おこし協力隊の方と繋がりを作ることができたことが今後の活動において、財産になりました。今後とも先輩、同期との繋がりを大切に、助け合って活動していけたらと思います。」
- 「先輩方の活動中の具体的なエピソードが聞くことができ became になったが、もう少し質問や具体的な話をオンラインからも聞くことができたなら良かったです。」